

平成30年度 第2回 静岡県立御殿場特別支援学校 学校評議員会

(兼 御特版コミュニティスクール委員会) 報告

- 1 日時 平成31年1月29日(火) 10:00~11:40
- 2 場所 静岡県立御殿場特別支援学校 会議室
- 3 参加者 学校評議員
御殿場市役所富士岡支所長
トヨタ自動車株式会社東富士研究所管理部 総括室グループ長
就労継続支援B型事業所 特定非営利活動法人 のぞみ作業所所長
社会福祉法人ステップ・ワン理事長
(欠席~株式会社 時之栖 東名高速駒門PA下り線 支配人)
御特版コミュニティスクール委員
富士岡地区福祉推進委員長
富士岡地区各区長(欠席3人)
PTA会長 PTA相談役 PTA地域活動部長
学校職員 学校長 副校長 学部主事
教務課長 進路指導課長 安全課長 情報課長
連携課長 コーディネーター

4 会議次第

- (1) 校長挨拶
- (2) 校内参観
- (3) 学校より
 - ①学校評価を受けて
 - ②防犯・
防災教育への取り組み
 - ③地域との連携
駒門パーキング活用
 - ④ICT機器設備の充実と活用授業
- (4) 意見交換・協議



5 意見交換・協議報告

- ・校内に配置してある防災の備蓄品やさすまたは、緊急時に物が倒れて取り出せないのではないか。いざという時、すぐに使えるようなしたほうがよい。
- ・「地域との連携」ということで本社は地域の小学5年生の見学を受け入れている。ぜひ活用して車を好きになってほしい。
- ・防災用飲食の備蓄を5日分備えたということだが、個人用なのか。外部から避難してきた人がいた場合どうなるのか。

⇒児童生徒分として備蓄している。本校は御殿場市の「二次的避難所」に指定されているので、学校に避難してきた人にも配分することになる。

- ・備蓄をした場所がはっきりわかるように表示したほうがよい。二次的避難所となるならばより他の人がわかるほうがよいだろう。
- ・防犯用のさすまたは、1本では対応が難しいため、2本ずつ設置してはどうか。
⇒現状としては、「校内に放送をかけて、さすまたを持ち寄って対応する」ように訓練はしている。さすまたの設置位置は職員が把握している。
- ・防犯に関して学校はよくやっている。
- ・校内参観の作業学習の中でジグを使用しがんばっている姿が見られた。
- ・学習発表会に卒業生がたくさん来ていた。よい学校だということを感じた。
- ・「こんな夜更けにバナナかよ」の映画の話の中に「完璧にできる人間はいない」という言葉があった。学校でがんばっている人が社会にでていてることを感じた。
- ・明るく朗らかな児童生徒が多いと感じた。あいさつもできている。
- ・図工や美術の作品がすばらしい。
- ・防災時のトイレについて 「トイレに大きなビニール袋をかけ、その内側に小さなビニール袋をかけ、その中に凝固剤を入れ使用する」方法がある。気兼ねなく排泄できると体調にもよいということも言われている。
- ・「災害用伝言板 web171」の訓練は、他の方の安否もわかり安心である。
- ・「災害用伝言版 web171」はわかりやすく簡単である。
- ・伝言ダイヤルなどのマニュアルやその他の必要な情報は、携帯で写真をとって携帯のメモ機能に入れると便利である。
- ・保護者にもタブレット端末やスマートフォンのアプリを教えてほしい。
- ・愛知県では自分のタブレット端末を学習に活用していると聞いた。
⇒今後個別面談等で使用しているアプリ等を知らせるようにしたい。
- ・防災備蓄は、外と中の倉庫の2箇所だが、どちらかが使えなくなることも想定して、食料と飲料を2箇所に分けてはどうか。

6 学校より

- ・今年の高等部3年生は25人。進路先は、企業就労7人、A型支援事業所1人、移行支援事業所2人、B型支援事業所や生活介護など15人である。
- ・御殿場市の防災局の方を招いて「富士山噴火」の勉強会を計画している。地域の方の参加も呼びかけたい。



地域との連携



木工課 花台